

## 人事公募

標準様式：なるべく、以下の項目にしたがってご  
 投稿下さいますようお願いいたします。結果は必  
 ずお知らせ下さい。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1)所属部  
 門・所属講座、(2)勤務地、3. 専門分野、4. 職  
 務内容・担当科目、5. (1)着任時期、(2)任期、6.  
 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期  
 間、9. (1)提出先、(2)問合せ先、10. 応募上の注  
 意、11. その他（待遇など）。

## 国立天文台研究員

1. 電波天文学分野3名、その他の分野1名ない  
 し2名
2. 国立天文台（電波天文学分野については原則  
 として野辺山）
3. 天文学及び関連分野
5. (1) 平成5年4月以降でなるべく早い時期  
 (2) 原則として2年（1年に限り延長を認め  
 ることがあります）
6. 大学院修士課程修了者またはそれと同等以上  
 の者で、原則として任地において研究及び業  
 務に専念できること
7. (1) 履歴書、(2) これまでの研究業績の概略、  
 (3) 論文リスト（共著の場合はその役割分  
 担）、(4) 研究計画（希望する任地、分野、指  
 導教官があれば明記すること）
8. 平成5年1月8日（金）必着
9. (1) 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1  
 国立天文台長 古在由秀  
 (2) 国立天文台研究交流委員会委員長  
 石黒正人（TEL：0267-63-4396）
10. 封筒の表に「国立天文台研究員応募書類」と  
 朱記し、応募分野「電波天文学またはその他」  
 を明記してください。
11. (1) 国立天文台研究員規則の定めによる（詳

細は国立天文台管理部庶務課人事係または  
 9. (2)にお問合せください）

(2) 選考は、国立天文台運営協議委員会におい  
 て行います。

## 国立天文台電波天文学分野助教授

1. 助教授 1名
2. (1) 国立天文台・電波天文学分野  
 (2) 長野県南佐久郡南牧村野辺山
3. 電波天文学
4. 国立天文台の電波天文学分野では、45 m 電  
 波望遠鏡およびミリ波干渉計を運用し、星間  
 分子、星生成領域、星、銀河などの観測的研  
 究を進めています。また、これらの装置を全  
 国共同利用に供するとともに、新しい可能性  
 を切り開くための装置開発を行っています。  
 さらに、スペース VLBI 計画、サブミリ波天  
 文学、将来の大型計画としての LMA 計画な  
 ど新しい分野の開拓にも力を入れています。  
 これらの研究の中核となって活動できる人を  
 希望します。
5. 決定後なるべく早い時期
6. 博士の学位を有するか、または、それと同等  
 以上の方
7. (1) 履歴書  
 (2) 研究歴  
 (3) 研究論文リスト及び主要論文印刷（共著  
 の場合は、その役割分担）  
 (4) 着任後の研究計画（自薦の場合）  
 (5) 本人について意見を述べられる人2名の  
 氏名と連絡先  
 (6) 他薦の場合は、研究計画がわかる推薦書
8. 1993年1月22日（金）必着
9. (1) 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1  
 国立天文台長 古在由秀  
 (2) 国立天文台・電波天文学研究系  
 稲谷順司（TEL：0267-63-4382）

- 封筒の表に「電波天文学応募書類」と朱記し、簡易書留でお送り下さい。
- 選考は国立天文台運営協議委員会において行います。国立天文台の定年は60歳です。

## 第2回重力波天文学シンポジウム

主催 文部省科学研究費重点領域総括班  
日時 平成4年11月26日-28日  
場所 リゾートホテル ViVi 熱海自然郷  
〒413-01 熱海市熱海字日影沢1890-16  
電話 0557 67 4129

内容 重力波アンテナの開発（レーザー干渉計、共鳴型など）、高安定度高出力レーザーの開発、宇宙の重力波源、重力波の放出機構、重力波天文学将来計画

講演申込・参加費・宿泊などの問い合わせ  
〒229 神奈川県相模原市由野台3-1-1  
宇宙科学研究所  
河島信樹  
電話 0427-51-3957  
Fax 0427-59-4237

## 天文教育普及のための指導者講習会

第4回目の講習会を本年度も、1993年3月23日～24日に開催いたします。詳細についてお知りになりたい方は、定型郵便最大サイズの封筒にご自身の住所、氏名を書き、72円切手を貼った返信用封筒を同封して下記へお申し込み下さい。

宛先：〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台内  
天文情報普及室指導者講習会係

## 第6回天文教育研究会が開催される



上記研究会が8月7日～10日に神奈川県相模セミナーハウスで開催された。120名あまりの出席者を得て、連日熱心な討議が行われた。この一年間にわたる各WGの活動が報告された。

観望会WGでは各地で行われている観望会の実態報告書がまとめられた。プラネタリウムWGでは、プラネタリウム館の運営方法に関する資料集を作る作業が行われてきた。その他のWG（全部で8つ）での作業も順調に進められてきた。今回の研究会のテーマは、「なぜ天文が必要か」であり、各方面から見た報告がなされ、メインテーマにせまる討論がされた。しかし、各人が共通の認識を得るのはまだまだだという感じであった。この会を主催した天文教育普及研究会も会員数が500名を越え、会員数の上でも大きな組織になってきたので、新しい会則が導入された。次の発展が期待されている。

なお、この研究会の集録が発行されているので、必要な方は、

〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台内  
天文教育普及研究会 宛  
申し込んで下さい。一部1500円（郵送料を含む）です。  
なお、当会会員には無料で配布されます。

## 国立天文台一般公開について

1. 国立天文台一般公開
2. メインテーマ：暗黒の宇宙を探る
3. 日 時：1992年12月5日(土)  
午後1時-6時30分  
(昨年より一時間繰り上がっています)
4. 場 所：国立天文台(三鷹)  
〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1  
電話 0422-34-3600  
JR 中央線武蔵境駅より狛江駅入口(営業所)行きバス  
天文台前下車(約15分位)  
京王線調布駅より武蔵境駅行き、  
又は武蔵小金井駅行きバス  
天文台前下車(約15分位)
5. 講 演：午後1時30分-2時30分  
「宇宙を操る暗黒物質」  
池内 了(国立天文台)  
午後3時00分-4時00分  
「宇宙を測る一かすかな光を求めて」 岡村定矩(東京大学)  
午後4時30分-5時30分  
「見えない波：重力波」  
藤本真克(国立天文台)
6. 公開施設：26インチ望遠鏡など
7. 質問コーナー：一般的質問，小型望遠鏡に関する質問

## 第5回理論天文学懇談会シンポジウム案内

日時：12月24日(木)～26日(土)  
場所：東京都立大学  
八王子市南大沢1-1  
(京王相模原線，南大沢駅下車)  
主な内容 (座長)  
超高速計算機による数値天文学 (観山正見)

天文学における専用計算機 (戎崎俊一)  
急転回する宇宙論 (杉山 直)  
観測されてきた惑星系形成 (中野武宣)  
「ようこう」による新しい太陽像 (柴田一成)  
92年理論天文学の進歩 (ポスターのみ)  
講演を希望する方は，発表を希望するセッション名，講演タイトル，簡単な講演内容を明記の上，世話人，または座長に申し込み下さい。また，会場の都合上，参加希望者は氏名，所属，連絡先，旅費補助の希望の有無，懇親会参加の予定の有無を世話人の小嵐までお知らせ下さい。なお，本研究会の旅費等の財源は非常に限られていますので，できるだけ他の研究費等による参加のご協力をお願いいたします。

申し込み締切：1992年11月14日

連絡先：〒192-03 東京都八王子市南大沢1-1

東京都立大学理学部物理科 小嵐康史

TEL 0426-77-1111(3346)

FAX 0426-77-2483

E-mail(bitnet) a910790@jpntmu00

世話人 小嵐康史(都立大理)，牧野淳一郎(東大教養)，松本亮治(千葉大教養)

### 計 報

本会元副理事長の中野三郎氏には，去る9月25日午前3時20分に急性心不全のためご逝去されました。享年90歳

謹んでご冥福をお祈りするとともに会員諸氏にお知らせ致します。